

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		事業開始年度	平成19年度	根拠法令・例規等	高齢者の医療の確保に関する法律、岡山県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例、備前市後期高齢者医療に関する条例	
総合計画	大項目	基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	問 合 先 先 先	
	中項目	基本計画	06	誰もがいつでも安心して暮らせるまち		担当課(室)
	小項目	施策	22	国民健康保険・後期高齢者医療制度の適正運営と国民年金事務執行		保健課 職・氏名 保険医療係・田淵美保子 電話 0869-64-1819
事務事業名		08	後期高齢者医療事業	このシート作成に要した時間 3.5 時間		

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	後期高齢者医療制度被保険者	
目的(何のために)	後期高齢者医療制度の適切な運営に資する。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	後期高齢者医療制度が安定した適切な制度となるようにする。	

事業の実績			Do
細事業名	事業の説明	優先度	
後期高齢者医療事業	後期高齢者医療保険料の徴収、後期高齢者医療広域連合への納付金、制度の啓発等。	◎	
後期高齢者健診事業	後期高齢者医療制度の被保険者に対し、生活習慣病の早期発見や重症予防による医療費の適正化を図るため国保の特定健康診査に準じた健康診査を実施する。	○	
目的を達成するため実施した事業			

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
事業費	直接事業費	千円	462,768	501,290	504,217
	必要人員費	人件費	1.12人	7,157	1.07人
決算額	事業費計	千円	469,925	508,355	509,685
	国庫支出金				
	受益者負担				
	繰入金				
	市債				
	その他(一般財源)				
受益者負担比率	%		469,925	508,355	509,685
結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	
結果指標	被保険者数	説明			
	結果指標量		6,541	6,648	6,666
	対前年比	%	102.1	101.6	100.3
	活動コスト	円	469,925,000	508,355,000	508,355,000
単位当たりコスト			71,843	76,467	

事業の成果 (平成25年度事業)						
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値	
後期高齢者医療保険料の収納率	目標値(A)	100	100	100	100	
	実績値(B)	99.32	99.70		到達目標値	
	達成率(B/A)	99.32%	99.70%	0.00%		100
成果指標設定の考え方・式や説明						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低い B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低い C
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	有効性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低い B
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	

進行年度(H25年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
		○				
説明	適正に継続して事業を行う。					

総合評価	
後期高齢者医療制度については、平成25年度から新制度に移行することが国の高齢者医療制度改革会議で示されたものの、現在、全く見通しのたない状況となっている。保険料を滞納している人にたいしては、納付意識の高揚を図って収納率の向上に努め、現制度のもと適正な事業の遂行に努める。	総合評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低い B

平成26年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
		○				
取組目標	後期高齢者医療制度については、平成25年度から新制度に移行することが国の高齢者医療制度改革会議で示されたものの、現在、全く見通しのたない状況となっている。現制度のもと適正な事業の遂行に努める。					

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しな